

# 岐阜県立飛騨高山高等学校

学校長 奥田 寛

学校住所 (岡本キャンパス) 高山市下岡本町2000-30  
(山田キャンパス) 高山市山田町711

電話 0577-32-5320

電話 0577-33-1060

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 令和4年度 飛騨高山高等学校 学校運営協議会 (第3回)

2 開催日時 令和5年1月27日(金) 13:15~14:30  
(学習成果発表会見学 9:15~12:20)

3 開催場所 高山市民文化会館 2-5 会議室  
(学習成果発表会 高山市民文化会館大ホール)

4 参加者 委員 宮下 伸一 高山信用金庫 理事  
岩佐 喜美子 高山赤十字病院  
永瀬 正幸 J A 飛騨ミート  
玉田 明正 岐阜県指導農業士 (欠席)  
島谷 和美 自営業 (食堂経営)  
西野 直美 育友会長 (全日制)  
下屋 綾乃 育友会長 (定時制)  
塚本 利幸 部活動後援会長 (通信制)  
中田 彰 同窓会長

学校側 奥田 寛 校長  
大森 賢一 副校長 (全日制山田キャンパス)  
金山 純一郎 事務部長  
野中 賀雄 教頭 (全日制岡本キャンパス)  
渡辺 圭子 教頭 (全日制岡本キャンパス)  
島田 正幸 教頭 (全日制山田キャンパス)  
西垣 光洋 教諭 (全日制岡本キャンパス・教務主任)  
砂田 正明 教諭 (全日制山田キャンパス・教務主任)  
杉山 遼 教諭 (定時制・教務主任)  
石地 志奈子 教諭 (通信制・教務主任)  
水田 奈央生 教諭 (全日制岡本キャンパス・生徒指導主事)  
柳原 博之 教諭 (全日制山田キャンパス・生徒指導主事)  
荒川 一弘 教諭 (全日制岡本キャンパス・進路指導主事)  
穂波 輝樹 教諭 (全日制山田キャンパス・進路指導主事)  
田中 一幸 教諭 (全日制山田キャンパス・農場長)

## 5 会議の概要

### (1) 自己評価の報告 及び学校関係者評価

#### ア 全日制

##### <学習指導>

意見1：最新機器を使用した発表に感心させられた。ひと昔前と比べて教育内容の進化に驚いた。

意見2：生徒の教員に対する評価が昨年と比べて高くなっている。それが学校生活に対する生徒の満足感につながっている。

##### <生徒指導>

意見1：学校が携帯電話やインターネットの使用上の注意点を教えたり、マナーの指導を行うとなると大変な労力を要するのでは。本来は、家庭で行うべきことである。

##### <進路指導>

意見1：企業としては積極的に地元の生徒を採用したいと考えているが応募が少ない。さらなるふるさと教育の充実をお願いしたい。

意見2：低学年時より知識の定着とともに心や体も鍛えてもらい、さらに一人でも多くの夢をかなえる進路指導を期待する。

#### イ 定時制

##### <学習指導>

意見1：スクールソーシャルワーカーと共に生徒支援を行っているということだが、具体的にどのように行われているのか。

⇒生徒や保護者の困り感はまず職員で共有している。必要な時には適切な支援がうけられないか保護者の了解のもと、スクールソーシャルワーカーに相談している。

##### <生徒指導>

意見1：生徒自身はもとより、家族もどうしてよいかわからないことも多い。スクールソーシャルワーカーに支援に入ってもらうことは大変有難い。

##### <進路指導>

意見1：入学理由が様々な生徒への進路指導は大変難しいこと。そのような中、昨年度に比べて進路情報が生徒に多く伝えられており有難く感じている。

#### ウ 通信制

##### <学習指導>

意見1：子どもが自分を表現できるようになってきた。ゆっくりではあるが確実な変化が見られる。丁寧な支援・指導が有難い。

##### <生徒指導>

意見1：内にこもっていて困り感を親にも言えない生徒も多い。先生方からの1つのちょっとしたアドバイスが、雪がとけるかのように、心の変化につながってきている。

##### <進路指導>

意見1：進学のための小論文や面接の指導等、先生方が頑張っているので生徒が頑張れている。

### (2) 学校へのご意見、ご要望（学習成果発表会の感想も含む）

#### <学習成果発表会について>

意見1：司会や観客の態度もよく、話し手を引き立てていた。この成功体験を大切にしたい。（複数）

意見2：伸びしろのある研究であったと思う。探究を継続してほしい。

意見3：3年の発表を低学年が見ることで、進級する覚悟につながった。定時制、通信制の生徒

にも来場を促すとさらに良い。ICTの活用は画期的であり、その技術を使って地方で活躍することも大いに考えられる。

意見4：発表の機会を多く設定できるとよい。沢山の高山市民に認識してもらいたい。

意見5：定時制、通信制も地域と触れ合った学習ができるとよい。

#### <学校運営>

意見1：今年度、制服検討委員会に参加。その際に生徒や保護者、同窓会役員がフラットな立ち位置で議論できる場があることに感銘を受けた。また委員会では、生徒たちが自ら考え、意見を持ち、それを自らの言葉で伝えており、たいへん頼もしく感じられた。

意見2：通信制、定時制の行事を運営協議会委員で見学する機会があるとよい。

#### (3) その他

##### <ヘルメット着用努力義務化に向けた学校としての取組の方向性（伺い）>

意見1：努力義務化ということだが、おしゃれな高校生の着用は難しいのでは。強制は難しいか。

意見2：子どもの帰宅が遅くなるため、帰ってくるまで事故がないかどうかいつも心配している。任意ということでは着用はしないだろう。

意見3：わが子に着用をすすめたところ、拒否された。しかし、事故にあった際には着用の有無で大きく結果が変わる。命との対峙となると校則で着用するように決定してもらえると有難い。

意見4：有用性を生徒に訴えるしかないのでは。

意見5：制服の検討会議のように、生徒等に意見を求めてはどうか。

#### 6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会において、本校の現状や取組を踏まえ、委員から多くの意見や要望を聞いた。得られた意見を本校教職員で共有・検討し、安心・安全であり、かつ、なお一層生徒がいきいきと活動でき、夢を実現することができる学校となるよう体制を整えていく。